

心の健康

1-7

目標 仕事や役割を持ち続ける

わが市の課題

- ・2007年問題…退職後の活動の場がない(市民グループワークより)
- ・勤労・ボランティア等の受皿の不足(市民グループワークより)
- ・「自分の人生の目標を持ち、その実現のために日々努力することを心がけている」
 - …男性18.1% 女性22.7%(旧飯山町)
- ・「生きがいを持っている」
 - …男性72.7% 女性76.7%(旧綾歌町)
 - …男性40歳代が最も低い 59.1%(旧綾歌町)
 - …女性20歳代が最も低い 62.9%(旧綾歌町)

みんなの役割	内容	取り組む主体
市民一人ひとりや 家庭で取り組むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・自分に合った仕事や役割を持つ ・ボランティア組織を知り、活動に参加する ・自分の得意なことを地域やサークル活動で活かす ・一人で行えることを見つけ始める ・家族が、役割を持って活動することを理解し応援する 	個人 個人・家庭 個人 個人 家庭
地域で 取り組むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア的活動を計画実施し、参加を推進する ・ボランティアの育成・養成をする ・ボランティア活動の情報提供をしたり、相談に応じる ・ボランティア活動団体の活動を支援する ・ボランティア団体や活動について普及啓発 ・地域の人材を発掘し、上手に活用する ・得意分野を活かせる場づくりをする 	ボランティア協議会 コミュニティ・住民団体 社会福祉協議会等 (ボランティア協議会) 社会福祉協議会等 (ボランティア協議会) 社会福祉協議会等 (ボランティア協議会) シルバー人材センター (ボランティア協議会)
行政が 取り組むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事や役割を持つことが重要であることを啓発する ・ボランティア活動等を推進する 	健康課等 福祉課等

目標年次(平成28年度)の評価目標

- ・「自分の人生の目標を持ち、その実現のために日々努力することを心がけている」人の割合
 - ……………男性25% 女性30%
- ・「生きがいを持っている」人の割合の増加……………男性40歳代70% 女性20歳代70%
- ・退職後の勤労の場やボランティア活動についての情報が容易に得られる

備考